

第57回 技能五輪時計修理職種 課題 1

シチズン H50※※(コンプリート)



この時計は、文字板面にソーラーセルを配し、光エネルギーを電気エネルギーに変換して、時計を駆動させるソーラーパワーウォッチです。

24 時間表示や、1 秒単位で 60 分まで計測できる、クロノグラフ機能等を搭載しています。

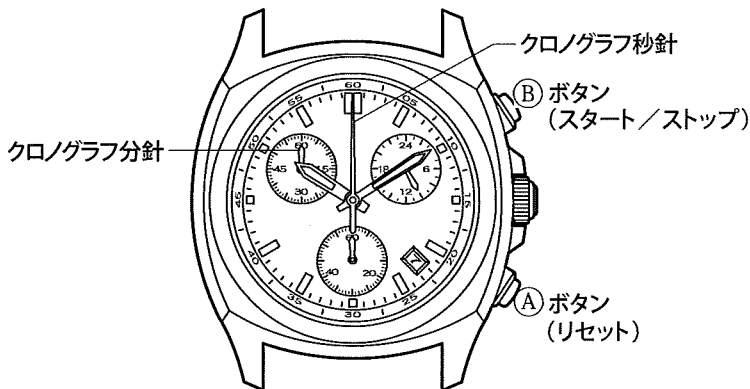
・製品仕様

キャリバーナンバー		H50 M-00
型式		アナログソーラーパワーウォッチ
ムーブメントサイズ (mm)		26.0 × 22.6 × 4.53t
時間精度		平均月差 ± 15秒 (常温+5 ~ +35 携帯時)
水晶振動子		32,768Hz
使用IC		C/MOS-LSI 1個
作動温度範囲		-10 ~ +60
変換機		2極ステップモーター
時間調整		市場での調整不可
測定ゲート		10秒
表示機能	時刻	24時間、時、分、秒
	カレンダー	日付
	クロノグラフ	1秒単位で最大59分59秒まで計測表示
付加機能		充電警告機能
		クイックスタート機能
		過充電防止機能
持続時間		<ul style="list-style-type: none"> ●フル充電後、充電しないで時計が停止するまで...約5カ月 (クロノグラフ等の使用頻度によって、持続時間が異なってきます) ●2秒運針～時計が停止するまで...約5日
使用電池		二次電池

上記製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

クロノグラフの使い方

クロノグラフは、1秒単位の計測で、最大59分59秒まで計測表示します。60分経過するとクロノグラフ各針は、自動的に12時位置に停止します。

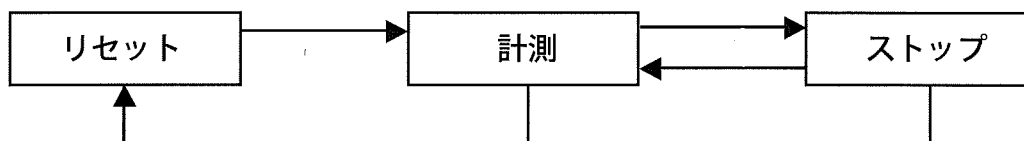


注意

- クロノグラフ計測中は、時計に強い衝撃を加えないでください。クロノグラフ計測中や、60分経過後自動的に停止した場合に、強い衝撃等が加わると、クロノグラフ分針がズれることがあります。その際は ボタンを押し、12時位置にリセットしてからご使用ください。

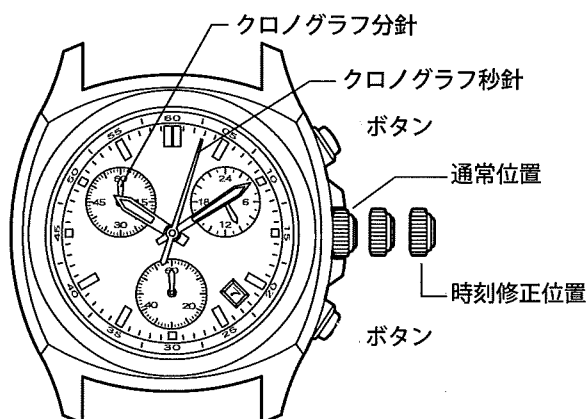
【クロノグラフ計測】

1. ボタンを押すと、計測がスタートします。
 - ボタンを押すごとにスタート、ストップを繰り返します。
3. ボタンを押すと0秒にリセットされます。



5. クロノグラフ秒針の0位置合わせ（電池交換をした後は）

電池交換後、クロノグラフをリセットした時に、クロノグラフ秒針が0秒位置に戻らない場合や、強い衝撃などでクロノグラフ秒針の位置がずれた場合は、次の手順でクロノグラフ秒針の0位置合わせを行ってください。りゅうずがねじロック式の場合は、ねじをゆるめてから操作を行ってください。充電警告機能作動中（充電不足で秒針が2秒遅針をする）は、0位置合わせはできません。十分充電し1秒遅針をしていることを確認してから行ってください。



【クロノグラフ秒針0位置合わせ】

1. りゅうずを時刻修正位置にします。
2. ボタンを3秒以上押して離すと、クロノグラフ秒針の0位置修正状態になります。

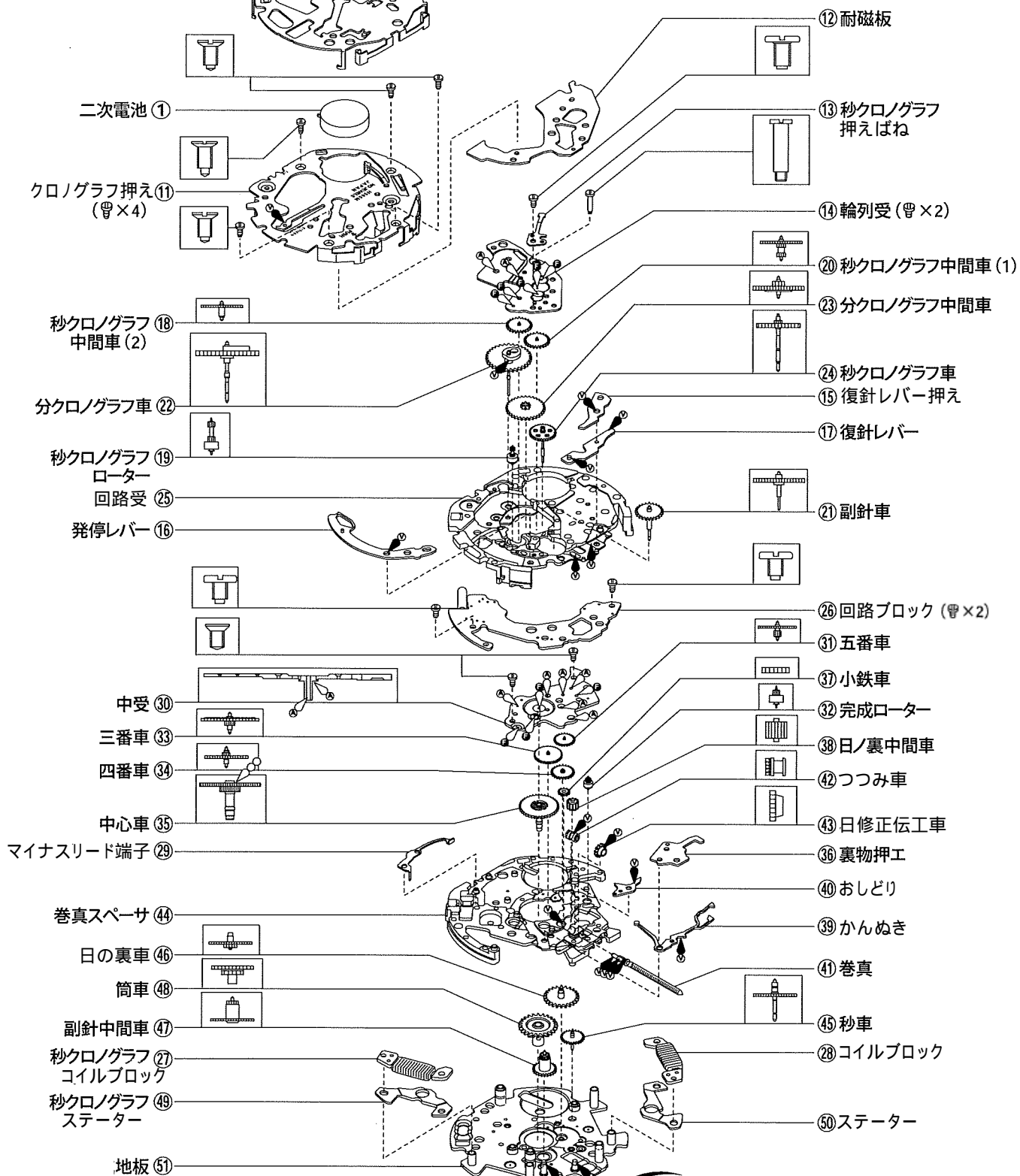
ボタンを押して、クロノグラフ秒針の0位置を合わせてください。

 - ボタンを押すと、押す毎にクロノグラフ秒針が1秒ずつ正転（時計回り）します。
 - ボタンは、押し続けると、クロノグラフ秒針の早送りができます。

3. 0位置合わせができたなら時刻を合わせ直し、りゅうずを通常位置に戻してください。
4. ボタンを押して、クロノグラフ分針が0位置にリセットされることを確認してください。

ムーブメントの分解・組立

分解は①～⑤①の順番で行ってください。
組立は⑤①～①の順番で行ってください。



●給油マーク

- Ⓐ : Aルーベ
- Ⓥ : Vルーベ
- Ⓕ : Fルーベ
- ⓪ : AO-G08

キャリバーナンバー

